



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



プレスリリース

令和元年7月25日

RECNAポリシーペーパー第8号 「迷路に入った核軍縮：リスク削減に向けて」 の刊行について

核兵器廃絶研究センター（RECNA）では、被爆地長崎の市民の皆様をはじめ、核問題に関心を持つ多くの方にタイムリーな情報と分析をお届けするべく、時宜を得たテーマでこれまで「ポリシーペーパー」（日本語）の刊行を続けて参りました。

この度、その最新号として、「迷路に入った核軍縮：リスク削減に向けて」を刊行いたしました。米口の核兵器近代化、イラン核合意、朝鮮半島の非核化などのホットなテーマで最新情勢を分析するとともに、今年開催されたNPT再検討会議第3回準備委員会の議長を務めたマレーシアのサイド大使へのインタビューも掲載しています。

74回目の原爆忌を前に、いま世界が直面している状況と今後に向けた展望を明らかにするとともに、2020年NPT再検討会議とその先に向けて核軍縮の行方を占う上で大変示唆に富む内容となっています。

つきましては、下記のとおり刊行にかかる記者会見を開催しますので、ご案内申し上げます。

記

■日 時： 2019年7月31日（水）15：00より（1時間程度）

■場 所： 長崎大学核兵器廃絶研究センター 1階会議室

■報告者： 吉田 文彦 核兵器廃絶研究センター センター長
鈴木 達治郎 核兵器廃絶研究センター 副センター長
広瀬 訓 核兵器廃絶研究センター 副センター長

■内 容： ・ポリシーペーパーの紹介と解説
・質疑応答

【お問い合わせ】

長崎大学核兵器廃絶研究センター事務局
TEL: 095-819-2164
FAX: 095-819-2165